

スクールカウンセラーの寺島です。私は今アナログレコードを集めています。正確に言えば、集めなおしています。

私が高校生の時は、ネット配信はおろか、CDさえこの世にありませんでした。ところがアナログレコードは非常に高価で、ほしいアルバムを手に入れるのは至難の業でした。おこづかいでは買えるのは1か月にせいぜい1~2枚。泣く泣く購入を断念した作品はたくさんあります。

数は多くありませんが、地元にも中古レコードを扱っている店は何軒かあります。こまめに足を運べば、かなり廉価でレコードを手に入れることができます。ビートルズと中森明菜は500円以下でほぼコンプリートしました。レコード盤に針を落とすと、高校時代の思い出が鮮やかによみがえってきます。あの頃は多感で1曲1曲にいろいろな思いを重ねたりしました。デジタル音源では思い浮かばないなつかしい出来事がレコード盤からあふれてくるから不思議なものです。

さて今回は顔の識別の話です。

❀ 人はどうして顔を見分けられる? ❀

人間の視覚や認識機能の中には非常に優れた部分があります。それは視覚的に顔を認識する機能です。私たちは顔を見て瞬時に知り合いかそうでないか判別できます。それは顔にある目、鼻、口、輪郭などの情報を瞬時にまとめて認識する非常に複雑で優れた機能です。このメカニズムはくわしくわかっていませんが、人間は経験から「平均的な顔」という判断材料をもっていて、無意識にAさんは目が小さい、口が大きいなどの情報を備蓄してもっているという考えが通説でした。

ところが、2008年1月に科学技術振興機構（JST）はサルの赤ちゃんは生まれながらに顔を認識する能力をもっているという研究報告をしました。生まれた直後からいっさい「顔」を見せずに育てたサルに、ヒトとサルの顔写真や顔以外の物体の写真を見せると、サルは初めて見るにもかかわらず、顔を認識する能力をもっていました。

人間の赤ちゃんは人の顔をすぐに覚えます。もしかしたら、人間の赤ちゃんは記憶がよいだけではなく、サルと同じように顔を認識できる能力をもって生まれてくるのかもしれない。



今回の訪問は6月29日（水）です。相談の申し込みは担任、養護、相談担当の先生方にたずねてください。